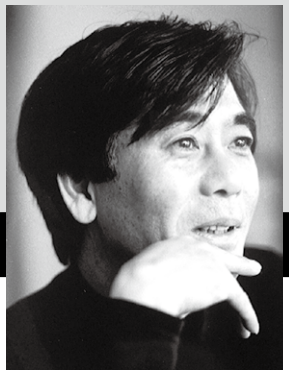

作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、㈱日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ！ ―――― 人生・農業リセット再出発 221

西洋世界史のウソ……日本人のDNAは別格だった！

歴史年表は紀元前をBC、紀元後をACと表す。紀元とはキリストの生誕を基準にしたもので、BCはBefore Christ、ACはAfter Christの略になる。

世界四大文明といえば、BC3000年にナイル河口に栄えた「エジプト文明」、BC3500年のチグリス・ユーフラテス川のイラク・クウェート地域「メソポタミア文明」、BC5500年のパキスタンとインドとの間のインダス川「インダス文明」、そしてBC5000の中国の「黄河文明」と、世界史で教えられてきた。現在の2019年を足すとインダス文明の最大7500年前が最も古い文明となる。

日本古代といえば、AC1世紀時代の静岡の「登呂」遺跡や、モースが発見した東京の縄文「大森貝塚」、邪馬台国論争に火をつけた佐賀の「吉野ヶ里遺跡」だったが、いまや観光客はなく、閑古鳥が餓死！している。世界四大文明に比べ我が国は最近の大阪府堺市の「仁徳天皇陵」がユネスコ世界遺産になったように、どんなに古くても縄文や弥生、AC3世紀以降の古墳時代の歴史しか残されておらず、数千年も遅れた未開民族の後進国とされてきた。「魏志倭人伝」に記述されている我が国の描写にしても、「魏」国はAC220～265年だが、そのころに「邪馬台国」「卑弥呼」が記述されている。東から太陽が昇ってくる地は、大きく和を大切にする国→「大和」と自らを呼んだのが語源であるが、それを自分たちが一番優れた偉い人種・中央の華だとする“中華”思想の魏国では、日本人の「大和」を→「邪」の侮蔑した意味の「邪馬台国」と蔑称し、「日の本の巫女（みこ）」を卑しい巫女→「卑弥呼」と漢字で記述している。

ところが、青森の「三内丸山遺跡」には最新の放射性炭素年代測定：radiocarbon datingで判明した驚きの事実がある。なんと遺跡の数々は、「1万6000～1万7000年前」と判定されたのだから、どこが世界四大文明なのだとなる。大和は世界最古の文明とされてきた7500年前よりはるかに古かったのである。さらに、現代アートにも匹敵する精巧な遮光土器や火炎縄文土器など、埴輪や炊事道具、祭器の数々が発掘されている。岩手県西田遺跡群からも村落の形状が見えてきた。同心円形の環状に計画的に集落が配置・形成され、中央部分には先祖の墓場、次に共同で使う掘立柱建物群、その外に竪穴式住居群、そして一番外側には「食物貯蔵穴」の順になっている。動物世界の争いごとは常に食料の収奪である。その大事な食糧庫が一番外側の無防備な場所に設けられていたということは、外敵が存在しない平和な世界であったことに他ならない。文字通り大きく和する国→大和だった証左である。竪穴住居、高床式倉庫、大型竪穴住居が10棟以上、約780軒にも及ぶ住居跡、さらに祭祀用に使われた大型掘立柱建物。発掘の栗をDNA鑑定した結果、それは栽培されたものであることが判明した。自然の採取だけに依存せず、集落周辺で耕作する数百人規模の集落単位と想像できる。さらに、驚くことに青森に残る縄文土器とまったく同じ手法で造った形状も同一の壺が九州・福岡で発見され、北海道中野遺跡の「貝殻沈線文系土器」は1万1000年前の出土であるが、同一の土器が鹿児島県大平遺跡で発掘された。古代の日本列島に道路などあろうはずはなく、徒歩で日本列島縦断して交易したとは考えられない。とすれば、丸木船などで海を往来していたのだろうか、相当な航海術もあったことになる。

もう一度、言おう。世界四大文明の比ではなく、大和国の文明は人類史上稀にみる、1万7000年前から高度な文明を持っていたのだ。そして、最も驚異的なDNA結果が出た。日本人固有DNAの75%は、中国大陸や朝鮮半島人のDNAとは明らかに別物であることが判明したのである。日本人に一番近いDNAを持つ民族はなんとチベットやネパール近辺のアルタイ語圏だという。分析科学が発達すればルーツ解明も含めさらに面白い壮大なロマンの世界が広がるだろう。